

原発ゼロ・自然エネ連盟 発足 小泉元首相「国民運動に」

2017年4月15日 朝刊



「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」創設の記者会見をする会長の吉原毅城南信用金庫相談役（左）と顧問の小泉純一郎元首相＝14日午後、東京都品川区で

各地で活動する脱原発や自然エネルギー推進団体の連携を目指す全国組織「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」が十四日発足し、東京都内で記者会見を開いた。顧問に就任した小泉純一郎元首相は「自民党と革新勢力双方の支持者を巻き込んだ国民運動にしていく」と訴えた。

福島第一原発の事故後に全国で進められた脱原発の運動は、連携がなく広がりや欠けていたとの判断から設立を決めた。全国組織として事務所を置き、講演会や意見交換会の開催、政府への提言、優れた活動をした団体の表彰などを行う。

会見で小泉氏は「国民全体で原発を止めていこうという強いうねりが起きているのを実感している」と強調。その上で「いずれは国政選挙においても脱原発が大きな争点になる時がくる」と力を込めた。

会長には、経営者として脱原発を訴えてきた城南信用金庫の吉原毅相談役が就任。吉原氏は「原発が経済的にも採算が合わないのは

東京新聞

明らかで、自然エネルギー化は世界の流れだ。日本全国の声を集めていく」とあいさつした。

連盟には約百五十の団体が参加する予定。主な役員は次の通り。

顧問＝細川護熙（元首相）▽副会長＝中川秀直（元自民党幹事長）
島田晴雄（前千葉商科大学長）佐藤弥右衛門（全国ご当地エネルギー協会代表理事）▽事務局長＝河合弘之（脱原発弁護団全国連絡会共同代表）▽事務局次長＝木村結（東電株主代表訴訟事務局長）▽幹事＝鎌田慧（ジャーナリスト）佐々木寛（新潟国際情報大教授）香山リカ（立教大教授）三上元（元静岡県湖西市市長）永戸祐三（ワークスコープ理事長）